

キャンプファイヤー シナリオ例

【第1部 迎え火の式】(静)

(開会の言葉)

◇「みなさん、こんばんは。明るかった空も、夜のおとずれとともに、今ではすっかり遠く西の空に沈んでしまいました。自然の家での研修も最後の夜(1日目の夜)を迎えました。これまでの活動を振り返り、新たな明日への活力を燃やし、ともに、私たちの友情の輪を広げるため、ただいまよりキャンプファイヤーを行います。」

「それでは、これから迎え火の式を行います。」 ※BGM: 遠き山に日は落ちて♪

(営火入場)

◇「営火入場」(①親火・②子火4・③子火3・④営火長・⑤子火2・⑥子火1の順で入場する。)

※入場終了後 BGM fade-out

※営火入場時は、親火だけトーチに火をつける。

その他はトーチを持って入場

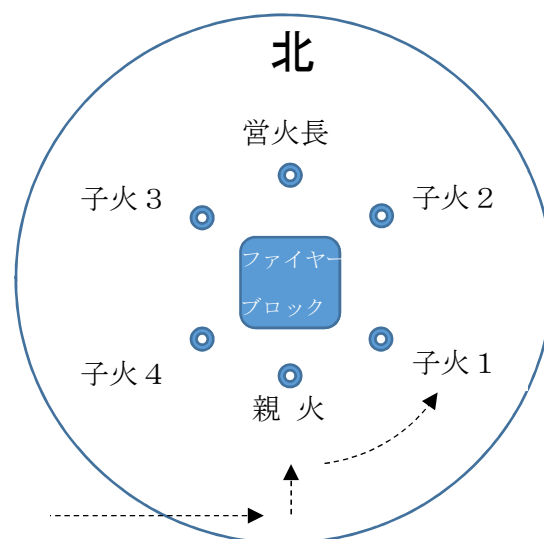
※親火を先頭に反時計回りに1周する。

※営火長・子火は自分の場所で止まる。

※営火長は北極星を背にして位置につく。

※親火・営火長・子火がポジションについたら次に進める。

※ファイヤーブロックから2m以上離れて立つ。
(近すぎると危険)



子火1・子火2・営火長・子火3・子火4・親火(前)

◇「親火は、営火にささげる言葉を述べてください。」

例:(親火) ※言葉は各団体で作成してもかまわない。

私たち研修生()名は、ここ大隅青少年自然の家においてキャンプファイヤーを行うことになりました。ともに鍛え、学び、また寝食をともにする生活の中で、今まで知らなかった友だちの素晴らしい姿を発見し、新しい友だちもでき、友情を深めることができました。今夜は、自分の姿を見つめ直すとともに、心に残るつどいにしたいと思います。

◇「親火は、子火へ呼びかけながら火を分けてください。」

※親火は、子火1→子火2→営火長→子火3→子火4の順で火を分火する。

※親火が動き、その他は親火が来るのを待つ。

① 親火が子火1の前に移動

親火:「健康を大切にするために」 ※子火1へ分火

子火1:「私たちは、常に心と体を鍛え、どんな苦しみにも負けない強い心とからだの持ち主になるよう努めます。」

② 親火が子火2の前に移動

親火:「一日一日全力をつくすために」 ※子火2へ分火

子火2:「私たちは、大きな希望と目標を持ち、一日一日の生活を反省し、いつも全力をつくす人になるよう努めます。」

③ 親火が営火長の前に移動 ※営火長へ分火(呼びかけはせず、火をつけるだけ)

- ④ 親火が子火3の前に移動
親火：「学校や地域社会の発展に役立つために」 ※子火3へ分火
子火3：「私たちは、いつも他の人々のことを考え、明るい学校、住みやすい地域社会をつくりだすよう努めます。」
- ⑤ 親火が子火4の前に移動
親火：「すばらしい友情のために」 ※子火4へ分火
子火4：「私たちは、うれしいときはともに喜び、苦しいときには助け合い、励まし合いながら、すばらしい友情を育てます。」
- ⑥ 親火はもとの場所へもどる。
- ◇「営火長は迎え火の言葉をお願いします。」
例（営火長） ※言葉は各団体で作成してもかまわない。

大隅の大地を照らしていた太陽は、はるか遠く水平線の波間に沈み、この大隅青少年自然の家も静かな夜を迎えようとしています。

遠い昔の人々は昼間、狩りや漁をして暮らしていました。夜になると満点に輝く星をながめながら、たき火を囲んで語り合い、また、儀式やつどいを行っていました。

その頃の人々にとって火は、自分たちを守る武器であり、闇夜を照らす明かりであり、寒さに震える体を温めてくれるものでありました。

火は人類の歴史とともに発展して、今日の文明を築き上げてきたとも言えましょう。

これから始まるキャンプファイヤーは、闇夜に足元を照らし、これから進むべき道しるべとなってくれるでしょう。

私たちにこれからの生き方を考えさせ、教えてくれるキャンプファイヤーが、一人一人の心の中でいつまでも燃え続け、楽しい思い出となるように祈って、迎え火の言葉とします。

(点火)

◇「ただいまの営火長の言葉、先ほどの親火の営火にささげる言葉、そして子火のみなさんの誓いの言葉をもう一度思い出してください。これらの言葉を参加者みなさんの誓いの言葉としてトーチにたくし、中央のファイヤーブロックに点火したいと思います。」

◇「営火長は点火の宣言をお願いします。」

○営火長：「点火」 ※親火・営火長・子火でファイヤーブロックに点火
※風向や炎の様子を見て、安全に十分気をつける。

◇「みなさん、中央の炎をしばらく見つめてみましょう。」 ※BGM:燃えろよ燃えろ♪

私たちには大きな夢があります。ところが、私たちの人生の行く手は、楽しく愉快なことばかりではありません。苦しいことも、悲しいことも、時には深い悩みに打ち沈むこともあります。しかし、どんなに苦しくても、明日に夢が描けるなら苦しみの中でも生きていくことができるものと思います。みなさんは、どんな夢をもっていますか。自分の夢を胸いっぱい膨らませながら、未来に向かってたくましく生きていきましょう。 ※BGM fade-out

◇「係のみなさんは退場してください。」 ※係は親火を先頭に退場する。(反時計回り)
※トーチの火は、濡れた雑巾かバケツの水で消す。

◇「さあ、みなさん！ 炎も高く燃え上がりました。今宵ひととき、歌ったり、踊ったり、ゲームをしたりして大いに楽しみましょう。」

【第2部 交歓の集い】(動) ※団体で事前に準備する。(レクリエーションや歌などの発表)

◇「これから楽しいレクリエーションをはじめます。」

【第3部 送り火の式】(静)

(開会の言葉)

◇「これから送り火の式をはじめます。」

「係のみなさんは、トーチを持って迎え火と同じ位置についてください。」

◇「営火長は採火の宣言をお願いします。」 ※省略可

○営火長：「採火」 ※親火・営火長・子火はトーチに点火
※風向や炎の様子を見て、安全に十分気をつける。

◇「営火長は送り火の言葉を述べてください。」 ※BGM：今日の日はさようなら♪

例 (営火長)

これまで燃え続けてきたキャンプファイヤーも、今はもう小さな炎になってしまいました。私たちは、キャンプファイヤーのこのひととき、ともに歌い、ともに笑い、友情を深めることができました。キャンプファイヤーの火は消えても、この友情の炎をいつまでも心の中に燃やし続けていきたいものです。

最後に、私たちをはげまし、見守ってくれたこの自然に感謝し、今夜のキャンプファイヤーを閉じることにします。 ※BGM fade-out

◇「先ほど点火された炎も、今では夜のしじまの中に赤いおき火を残すだけとなり、大いに楽しんだキャンプファイヤーもいよいよ終わりに近づいてきました。今日の一日は、私たちにとって楽しく実り多い思い出の1ページを残してくれました。」

◇「最後に『 』を歌って、キャンプファイヤーを終わりたいと思います。」 ※省略可

◇「係のみなさんは退場してください。」 ※係は親火を先頭に退場する。(反時計周り)

◇「これでキャンプファイヤーを終わります。」

※終了後、後片付けを行う。ファイヤーブロックは水をかけ消火を行い、指定された灰捨て場に捨てる。

○キャンプファイヤーをはじめる前の準備

①ファイヤーブロックを積み上げる。できあがったら、ブロック下方に灯油を少しかける。

②トーチの先の布に灯油をしみ込ませる。(6本)

③係(親火・営火長・子火4人)以外の参加者でブロックを囲んで大きな円をつくる。(そのとき、係が入場する場所は少し開けておく。)

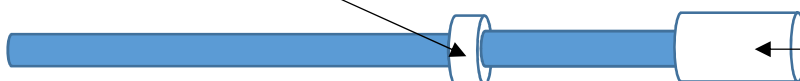
④放送や係の準備ができたなら、進行の合図で開始。

※事前に係のリハーサルを行うと本番がスムーズに進行できる。

★準備

・ファイヤーブロック用の薪 ・トーチ(6本) ・灯油 ・火をつけるための道具(ライター等)
・放送機器 ・BGM用CD ・衣装(必要に応じて) ・トーチ消火用のバケツ(濡れ雑巾)

※トーチは油流れ止めを必ず作る。



化学繊維製の布は危険ですので、
使用しないでください。